

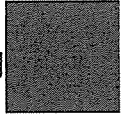
様式第1号（第2条関係）

令和7年9月30日

恵那市長

小坂 喬峰 様
(恵那市議会議長経由)

恵那市議会議員 町野 道明



交 付 請 求 書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、下記のとおり請求します。

記

政務活動費請求金額 54,710 円

但し、令和7年4月分 ～ 令和7年9月分



令和7年9月30日

恵那市議会議員

鶴飼 伸幸 様

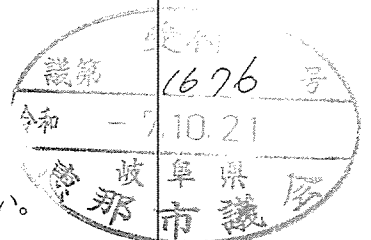
恵那市議会議員 町野 道明

研修視察等報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間 令和7年5月12日 ～ 令和7年5月14日
- 2 研修視察先
 - 1日目：静岡県島田市 株式会社東海汽缶
 - 〃 大井川鐵道株式会社
 - 2日目：山梨県北杜市 三代校舎ふれあいの里
 - 長野県飯綱町 いいづなコネクト EAST
 - 3日目：長野県長野市 戸隠地質化石博物館
 - 長野県飯綱町 いいづなコネクト WEST
- 3 研修視察名
新政会議員を中心とした有志議員による行政視察
- 4 研修視察者
千藤安雄、後藤康司、鶴飼伸幸、西尾努、太田敦之、林貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人（12名）
- 5 概 要
 - 1日目：SLの動態化事業を展開している企業の取組みを視察
 - 2日目：各地にある廃校活用の地域性や運用状況などを視察
 - 3日目：各地にある廃校活用の地域性や運用状況などを視察
- 6 効 果
別添の恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書を参照ください。



令和 7 年度 恵那市議会政務活動費実施 (参加) 記録書

議員名 町野 道明

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和 7 年 5 月 1 2 日 1 0 時 3 0 分 ~ 1 2 時 0 0 分
3. 会 場	株式会社東海汽缶 (蒸気機関車整備工場)
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	1 2 人
6. 内容 (目的)	恵那市では S L 復元の取り組みの動きがあり、イニシャルコストとしてボイラー整備や車両整備が必要となるため、長年 S L の動態化 (蘇らせる) 事業を展開している企業の取り組み状況などを現地視察した。
7. 効 果	S L のボイラー整備には、鉄板腐食箇所変更や大小煙管更換など様々な作業が必要で、最短でも 1 年半から 2 年の整備期間が必要。整備士養成は、全検査レベルの習得には最短 3 年の期間を要するが、熱意だけではなく本人の知識習得と実践で生かす積極性を兼ね備えた者でなければ勤まらない。なお、日常の整備レベル習得には最短で 2 か月だが、まずは蒸気機関車の構造を確実に知識として習得してからがスタートで 1 年間の養成期間を要する。機関士は、国家試験 (年 2 回) の筆記試験と実技試験で合格する必要がある。機関士助手は、厚生労働省の筆記試験に合格して、2 年以上のボイラー取扱業務がなければ免許が取得できない。イニシャルコストは、必要となる集塵機選択や石炭灰落とし、水質などコストを抑える方法もあり、ランニングコストも燃料の選択と使用方、運転方の工夫などでコストを抑えることもできる。実際に S L 整備から復元するまでに必要な期間は、分解運搬時始まり整備し許認可を受けるまでに 3 年半から 4 年はかかるらしいことなど、さまざまな貴重な説明と整備工場見学もでき、大変参考になった。

令和 6 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 町野 道明

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和 7 年 5 月 1 2 日 1 3 時 0 0 分 ～ 1 4 時 3 0 分
3. 会 場	大井川鐵道株式会社（新金谷駅など）
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	1 2 人
6. 内容（目的）	S L 関連施設として鉄道車両を運用可能な状態で整備・保存（動態保存）して、S L をほぼ毎日運行している施設や設備を見学
7. 効 果	大井川鐵道では、新金谷駅で実際に運行されている S L の整備を担当している整備士から話を聞く機会もいただき、同じ車両形式でも部品が同じではなく、部品を外注しても一つ一つ手作りで仕上げることや自分たちで製作することなど整備現場で整備の困難さなどを視察することができた。 また、国の登録有形文化財となっている新金谷駅の駅舎内に展示してある古い S L や駅舎なども見学することができた。

令和6年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 町野 道明

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和7年5月13日 10時00分 ~ 13時00分
3. 会 場	山梨県北杜市 三代校舎ふれあいの里
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那南中学校統合による学校の閉校に伴い、校舎の活用方法を模索しており、全国には廃校となった校舎を再利用する自治体が多くあり、廃校となった明治・大正・昭和の三つの時代に建設された校舎を再利用している取り組みなどを現地視察。これらの事例を学び、最適な活用方法を検討する。
7. 効 果	山梨県北杜市の三代校舎ふれあいの里では、明治・大正・昭和の3つの時代に建設された校舎の活用事例を市職員から説明を受け、 明治校舎と大正校舎は、小学校の廃校で、昭和校舎は中学校の廃校であり、明治校舎は、山梨県指定文化財でハイカラな外観と木造が特徴の歴史資料館となっており、懐かしい学校教材に触れて体験ができ、1階はカフェとなっている。大正校舎は、大正館として農業体験施設となっており、ほうとう作りが実施されている。昭和校舎は、総合観光施設おいしい学校として、イタリアンや和食、地元野菜の販売、宿泊施設などが展開されており、廃校を存続と継続するための地元の熱い思いがないと事業として展開するのは難しいと感じた。 また、北杜市でも学校再編に向けた検討が進められているようで、今後の廃校活用が課題であるとのことであった。

様式第 1 号 (手引き第 3 章関係)

令和 6 年度 恵那市議会政務活動費実施 (参加) 記録書

議員名 町野 道明

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和 7 年 5 月 13 日 15 時 00 分 ～ 16 時 00 分
3. 会 場	長野県飯綱町 いいづなコネクト EAST
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	12 人
6. 内容 (目的)	恵那南中学校統合による学校の閉校に伴い、校舎の活用方法を模索しており、全国には廃校となった校舎を再利用する自治体が多くあり、廃校となった廃校となった小学校をリノベーションして作られた施設を見学。これらの事例を学び、最適な活用方法を検討する。
7. 効 果	長野県飯綱町の「いいづなコネクト EAST」を見学。旧小学校を改修した複合施設として、りんごを発呼させて造られるアルコール飲料 (シードル) の醸造所 や共有型のオフィススペース (コワーキングスペース) などがあり、しごと創りを促すような施設であると感じられた。

様式第1号(手引き第3章関係)

令和6年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 町野 道明

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和7年5月14日 9時00分 ~ 10時00分
3. 会 場	長野県長野市 戸隠地質化石博物館
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那南中学校統合による学校の閉校に伴い、校舎の活用方法を模索しており、全国には廃校となった校舎を再利用する自治体が多くあり、廃校となり再利用されている施設を自然史博物館として運用している取り組みなどを現地視察。これらの事例を学び、最適な活用方法を検討する。
7. 効 果	長野市で旧中学校の木造の校舎を利用した戸隠地質化石博物館を視察した。廃校利用のため、通った学びの場所として親しみやすい作りになっており、学びの場としてケース越しの展示だけでなく、さわれる展示も数多く用意されており、標本にさわっての体験学習できようである。 ここでは、熱心な研究員の人を引き込むような話しに感動し、施設管理には人材確保が重要であると感じた。

令和6年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 町野 道明

1. 会の名称	新政会
2. 開催日時	令和7年5月14日 11時00分 ~ 13時00分
3. 会 場	長野県飯綱町 いいづなコネクト WEST
4. 参加議員名	千藤安雄、後藤康司、鵜飼伸幸、西尾 努、太田敦之、林 貴光、柘植孝彦、服部紀史、伊藤勝彦、渡辺武彦、町野道明、高橋隼人
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那南中学校統合による学校の閉校に伴い、校舎の活用方法を模索しており、全国には廃校となった校舎を再利用する自治体が多くあり、廃校となった廃校となった小学校をリノベーションして作られた施設を見学。これらの事例を学び、最適な活用方法を検討する。
7. 効 果	飯綱町の「いいづなコネクト WEST」の視察では、昨日見学した EAST を含めた説明を受け、施設開設に向けた地域住民組織での20回を超える議論や施設の状況、課題など詳細に話を聞くことができた。 EAST は、食・農・しごと創りをテーマにしたしごとの創業交流施設で、WEST は自然・スポーツ・健康をテーマにした自然体験交流施設となっており、まだ十分に使える思い出の校舎を取り壊すことなく、地域内外の多世代が交流する拠点として再活用されていた。 この施設の運用を任されている「株式会社カンマッセいいづな」は、旧小学校の跡地利用を主の目的に作られた会社で、地域の居場所づくりである食堂やまちの新しい仕事の創出をする自主事業も展開しており、ここでも地域の想いがこもった施設が運用されていると感じられた。

視察報告

静岡県島田市 株式会社東海汽缶(令和7年5月12日)

- ・蒸気機関車を整備する様子を拝見いたしました。整備の人材確保や人材育成が、課題であるとの説明があった。
- ・整備のため部品調達が、課題であるとの説明があった。
- ・高度の技術力、長期の部品調達であることから整備には長時間要するとの説明があった。
- ・その他効果参照

静岡県島田市 大井川鐵道株式会社(令和7年5月12日)

- ・観光客の誘致について、新しいアイデアが常に必要で、収益向上にどのように向き合っていくか課題があると感じた。
- ・国内の観光人口が減少するなか、外国人観光客の確保をどのような仕組みづくりが必要あるかと感じた。
- ・蒸気機関車のメンテナンス作業に、維持費が懸念されて、部品調達に課題がある。
- ・その他効果参照

山梨県北杜市 三代校舎ふれあいの里(令和7年5月13日)?

- ・明治、大正、昭和の校舎の比較により、建設の技術など含め時代背景の歴史が蘇る。
- ・地域に愛される施設を目指している。
- ・自然の豊かさがあり、映画やドラマなどの撮影場所に適している。
- ・廃校の校舎の活用として、おいしい学校、宿泊、充実した体験が得られる。
- ・その他効果参照

長野県飯綱町 いいづなコネクト EAST(令和7年5月13日)

- ・閉校舎の教室を再活用した施設で、ほぼ教室が活用されていた。
- ・三階の教室の活用はテナントが入っている。まだ、空きがありテナントの募集中。
- ・補助、入居支援が充実している。
- ・長野県のリンゴを活用した、林檎学校酒造所が好評で地域とつながりを模索中。
- ・その他効果参照

長野県長野市 戸隠地質化石博物館(令和 7 年 5 月 14 日)

- ・校舎の教室を再活用して、全国でここしかない展示物、全国から集めた貴重な展示物、地質化石の資料などがあり、全国から多くの方が殺到している。
- ・人里離れた廃校舎に全国から注目して頂けるように、ほかの施設が真似をできない努力と工夫があり、プラタモリさんとの話題があるなど発信力の強さがあった。
- ・館長は入館者に対して、多くの方にお越しいただくように大変に努力していた。スピーチも、展示物の説明、ほら貝での訪問者の最後の見送りは印象的で、全ての人々を楽しませてくれています。
- ・その他効果参照

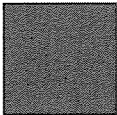
長野県飯綱町 いいづなコネスト WEST(令和 7 年 5 月 14 日)

- ・閉校した小学校の教室を活用している。EAST とは対照的で、自然、スポーツ、健康を軸に自然体験交流に重きをおくことで、EAST との違いを発信している。
- ・校舎の正面には、トチノキがあるとの意かもしれませんが、とちのきランドリー、とちのき食堂、売店などがあり、地域人々の生活を支えている。また、宿泊型であり 5 人から 40 人まで宿泊できる教室の活用があった。
- ・サッカーグラウンド、フィットネスジムなど運動に関する施設であった。
- ・その他効果参照

令和 7 年 4 月 1 6 日

恵那市議会議員
鵜飼 伸幸 様

恵那市議会議員 町野 道明

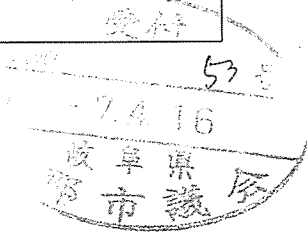


研修・視察等届出書

恵那市議会政務活動費運用の手引きの規定により、研修・視察等届出書を提出します。

記

日 程	令和 7 年 5 月 1 2 日 (月) ～ 令和 7 年 5 月 1 4 日 (水)			
出張者	渡辺 武彦 伊藤 勝彦 鵜飼 伸幸	林 貴光 柘植 孝彦 後藤 康司	太田 敦之 西尾 努 町野 道明	服部 紀史 千藤 安雄 高橋 隼人
用務地	①	5/12	静岡県島田市	(株) 東海汽缶
	②	5/13	山梨県北杜市	おいしい学校
	③	5/13	長野県飯綱町	いいづなコネクト EAST
	④	5/14	長野県長野市	戸隠地質化石博物館
	⑤	5/14	長野県飯綱町	いいづなコネクト WEST
用務内容	(行政視察テーマ) SL 蒸気機関車事業と廃校活用事例について			
	(趣旨) 長年 SL の動態化 (蘇らせる) する事業をおこなっている企業の取り組みについて調査、研究する。 全国各地にある廃校について、それぞれの地域性や特色などや運用状況などを調査、研究する。			
	(視察目的および恵那市の現状) 恵那市の SL 復元の取り組みにかかる想定費用のうち、イニシャルコストとしてボイラー整備や車両整備が必要となる。今回の視察では、SL の動態化に取り組んでいる企業を視察し、恵那市における課題解決につなげる。 恵那南中学校の統合により閉校となる校舎の活用方法を模索している中、全国には様々な取り組みで廃校となった校舎を再利用している自治体も多い。明治、大正、昭和と三つの時代に建設された校舎の活用や博物館、グランピングなどの観光施設、ビジネスのためのサテライトオフィスなどへの転換など多様な活用事例を学ぶ。			



令和7年9月30日

恵那市議会議員
鵜飼 伸幸 様

恵那市議会議員 町野 道明

収 支 報 告 書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、令和7年4月分～令和7年9月分に係る政務活動費収支報告書を提出します。

記

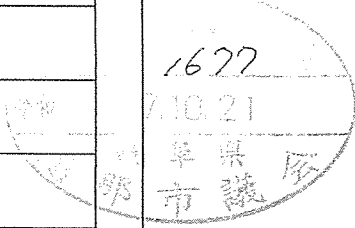
1 収 入

政務活動費 54,710 円

2 支 出

単位：円

項 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費	54,710	視察費等
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
合 計	54,710	



様式第5号 (第5条関係)

領收書貼付用紙

年 度	令和 7 年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	1	議員名	町野 道明
支出の按分の状況	(按分の内容) 総額のうち 1 2 人で割った金額を計上 (2 4 2,2 8 0 円÷1 2 人＝2 0,1 9 0 円) (端数切捨て)		
	(按分率) 1 0 0 %		(政務活動費充当額) 2 0,1 9 0 円
領収書の補足説明	5 月 1 2 日～5 月 1 4 日行政視察における宿泊代		
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄			

支 出 伝 票

金額 7,110円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和7年9月30日

恵那市議会議員 町野 道明

1 支 出 先 静岡市葵区昭和町4－5
アパホテル静岡駅北

2 支出年月日 令和7年5月28日

3 支出の項目 調査研究費

4 支出の使途 宿泊代

5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

研修参加者12名分の領収書を代表者（太田敦之）が受領しているため

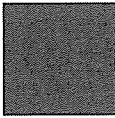
支 出 伝 票

金額 12,780 円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和 7 年 9 月 3 0 日

恵那市議会議員 町野 道明



印

- 1 支 出 先 長野県長野市間卸所町 1 2 2 1
 ホテル J A L シティ長野
- 2 支出年月日 令和 7 年 5 月 2 8 日
- 3 支出の項目 調査研究費
- 4 支出の使途 宿泊代
- 5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由
 研修参加者 1 2 名分の領収書を代表者（太田敦之）が受領しているため

支 出 伝 票

金額 3 0 0 円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和7年9月30日

恵那市議会議員 町野 道

- 1 支 出 先 岐阜県中津川市蛭川5328
 株式会社ごとう観光
- 2 支出年月日 令和7年5月28日
- 3 支出の項目 調査研究費
- 4 支出の使途 5月12日～14日 旅行保険料

5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

研修参加者の保険料12名分とホテル宿泊代金が合算された領収書を、代表者（太田敦之）が受領しているため。

様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和7年度	項 目	調査研究費		
整 理 番 号	2	議員 名	町野 道明		
支出の按分の状況	(按分の内容) 総額のうち12人で割った金額を計上 (414,250円÷12人=34,520円) (端数切捨て)				
	(按分率) 100%	(政務活動費充当額) 34,520円			
領収書の補足説明	5月12日～14日行政視察におけるバス代 (貸し切りバス代、高速料金、乗務員宿泊代)				
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄					

支 出 伝 票

金額 34,520円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和7年9月30日

恵那市議会議員 町野 道明

1 支 出 先 岐阜県中津川市蛭川5328
株式会社 ごとう観光

2 支出年月日 令和7年5月28日

3 支出の項目 調査研究費

4 支出の用途 5月12日～14日バス代

5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

研修参加者12名分の領収書を代表者（太田敦之）が受領しているため

様式第3号(手引き第4章関係)

令和7年度 恵那市議会政務活動費会計帳簿

議員名 町野 道明

(令和7年4月1日 から 令和7年9月30日 まで)

単位 (円)

日付		整理 番号	条例別表 の項目名	摘 要	領収額	政務活動費 充当額	支出可能額 (残)
				政 務 活 動 費 半 期 分 (予 定)			60,000
5	28	1	調査研究費	5/12, 5/13 宿泊費	20,190	20,190	39,810
5	28	2	〃	5/12~5/14 バス代金	17,260	17,260	22,550
合計					37,450	37,450	22,550